

令和4年度 前橋市児童文化センター第1回運営委員会 議事録

○開催日時 令和4年6月29日(水) 14時56分～16時43分

○出席者(28名)

・運営委員

西菌委員 荒井委員 手島委員 渡邊委員 藤森委員 古田委員 大澤委員
三好委員 天宮委員 田口委員 小暮委員 岡田委員 小林委員 春山委員

・教育委員会及び関係課

吉川教育長 都所指導担当次長 相原学校教育課長 木村教育施設課長
狩野公園管理事務所長(代理として石原副参事) 内山青少年課長(司会)

・職員

金井館長 藤本課長補佐 吉澤課長補佐 野中指導主事 飯塚指導主事
佐藤副主幹 井上主任 成田指導主事(記録)

○欠席者(1名)

・教育委員会及び関係課

関口生涯学習課長

○議事

(1) 報告及び協議

- ①令和3年度事業実績について
- ②令和4年度事業概要について
- ③令和4年度の運営について

(2) その他(意見交換)

○内容

1. 開会

2. あいさつ(吉川教育長)

昨年度はコロナ禍で、第2回は書面開催だったため、直接ご意見を伺う機会が減ってしまった。今年度は委員改選が行われたため、活発にご意見を賜りたい。コロナ禍3年目となり、警戒レベルが下がり、体験的実践的活動が徐々に戻りつつある。施設は10年を迎え、大きな修繕などを計画的に実施するため財源確保が必要。市長から、失った絆を取り戻すために応援・議論が必要とされており、児童文化センターは失ったものを取り戻す施設として期待されている。委員の皆様の知見を活かしたご意見をいただき、施設の運営に活かしていきたい。

3. 自己紹介

(委員) 西菌・荒井・手島・渡邊・藤森・古田・大澤・三好・天宮・田口・小暮・岡田・小林
・春山

(教育委員会及び関係課、職員の紹介は割愛)

4. 会長・副会長選出

(会長) 西菌委員

(副会長) 荒井委員

<p>5. 報告及び協議（進行：西園会長）</p> <p>（1） 報告及び協議</p> <p>①令和3年度事業報告について（金井館長）</p> <p>②令和4年度事業概要について（金井館長）</p> <p>③令和4年度の運営について（各担当）</p> <p>・質問、意見</p>	
<p>（西園会長）</p> <p>（田口委員）</p> <p>（事務局）</p> <p>（田口委員）</p> <p>（事務局）</p> <p>（西園会長）</p>	<p>コロナ禍でも20万人以上が来館したが、意見はあるか。</p> <p>プラネタリウムの更新について、この施設は、県内唯一のハイブリッド方式で星が美しい。プロジェクトの更新でよりきれいになることを期待している。予算のめどはついているのか。</p> <p>財政当局と協議を行っている。</p> <p>ぜひ、更新を実現してほしい。天文教室でのタブレットPCの活用方法についての考えはあるのか。</p> <p>搭載されているアプリ「星座早見」「星座図鑑」などの紹介からはじめていきたい。天文教室内での活用についても検討していきたい。</p> <p>ハイブリッド方式はプロジェクトと光学式による投影方法で、星がきれいに見える。</p>
<p>・承認</p> <p>拍手多数により承認</p> <p>（2） その他（意見交換）</p>	
<p>（西園会長）</p> <p>（古田委員）</p> <p>（事務局）</p> <p>（小暮委員）</p> <p>（小林委員）</p> <p>（春山委員）</p>	<p>プラネタリウムについてだが、ここで天文に興味をもつ人がいる。ぜひプロジェクトを更新してほしい。財源確保として、クラウドファンディングもできるのではないかと。例として、子供向けの人工心臓づくりでの実績もあり、公的な事業については応援してくれる方は多い。</p> <p>交通教室も大切。県内は自転車事故が多く、高校生が特に多い。子供の時から習慣が大きく影響する。前橋で育った子は安全に乗れることが大事で、特に左側通行の徹底が重要。</p> <p>タブレットPCの活用を進めてほしい。子供は毎日活用できていない。天文教室以外でも、環境教室でも活用を考えてほしい。資料の配布などでも使用できると思う。</p> <p>環境教室では、「まえばしの環境」のパンフレットを昨年度から、データで配布している。</p> <p>ゆくゆくはデータの共有などについても模索していきたい。</p> <p>宇宙少年団で、モデルロケットと水ロケット制作と打ち上げを行う教室を実施した。今後は、プログラミングも取り入れていきたい。ロケットの制作は既存のキットを使用するのではなく、カレンダーの紙を材料するなど、子供たちの思考を大切にしながら取り組んでいる。</p> <p>小学校の教員としても、タブレットPCの活用を模索中。星の観察で活用できるため、紹介していきたい。また、児童文化センターの設備について、学校でも子供たちにアピールしていけば、もっとたくさんの子供が興味をもてると思う。</p> <p>合唱団とジュニアオーケストラについて。コロナだからこそ音楽は必要だと改めて感じている。コロナ収束後には、定期演奏会の開催を期待する。子供たちは、日曜日でも目を輝かせて練習している。一方、講師の高齢化のため、活動の継続が心配。新しい講師の開拓や育成が必要。</p>

(岡田委員)	ふるさと納税による効果が不十分な場合は、クラウドファンディングもできるとよい。
(天宮委員)	公園管理事務所の方もいらっしゃるの、芝生広場で犬と小さい子供と一緒にいる様子が見られ心配している。すみわけなどができるようお願いしたい。
(荒井副会長)	共愛が一番近い大学で、前橋出身の学生が多い。「懐かしい」「行きたい」という学生の声が聞かれる。コロナ禍が落ち着いたら、ボランティアなどいろいろなお手伝いをしたい。保育や栄養士を目指す学生が多いため、講義で作成したポスターを停本所に掲示すること以外にも、インターンシップなど長期の協力をお願いしていきたい。
(渡邊委員)	プラネタリウムの番組制作のアフレコで子供が活躍していてすごくいい。中学生になると、児童文化センターから離れ気味なので、中学生を半運営側として活躍させてほしい。
(藤森委員)	小さい頃は交通公園と呼ばれていたため、交通について学ぶところという認識だった。いろんな事業をしていることを初めて知った。子供会も育成会も学ぶことができる施設として、持ち帰り広げていきたい。
(大澤委員)	交通安全のボランティアとして、中学校などでマナーアップキャンペーンをしている。特にヘルメットの着用が大切。中学生はかぶっているが、小学生と高校生はほとんどかぶっていない。だんだん増えてきているが心配なので、ヘルメットは自分の身を守ることを教室でも伝えてほしい。
(事務局)	自分の子供たちが毎週利用している。ぐるぐる美術館を登った先にある屋上で実際の星空を見る体験ができるとうれしい。
(三好委員)	市民対象の市民天文教室を年3回計画している。例年、ペルセウス座流星群や皆既月食などの天文現象の観察を中心に開催している。コロナ禍で定員を設定し事前申し込みを行っている。また、移動天文教室で、学校での星空を観察実施している。
(手島委員)	昨年度は、園バスで来園。交通教室を実施し、魅力的な遊具を満喫した。園児にとっては、小学校入学後に、初めて自分で歩くことになるので歩行教室は大事。昨年度の実績が少ないのはコロナ禍のためか。
(都所指導担当次長)	コロナ禍のため、計画はしていたが中止になった。
(事務局)	小学校は、環境教室と交通・天文教室でお世話になっている。中学生は、自然体験で関わっている。他郡市から、うらやましがられる施設である。学習指導要領を踏まえた教室の充実を期待する。市民天文教室について、望遠鏡の数は天文台に負けないくらいあるので、コロナが収束したらぜひ開催して欲しい。プラネタリムのプロジェクタが更新されて、さらにきれいな映像を見られると思うと楽しみである。
(事務局)	映像の中で、子供がメダカを見たときに驚きがあった。知識・技能の定着、思考力・判断力の向上は学校でも取り組んでいるところではあるが、児童文化センターでは、実際の体験や子供たちが考えることを大切にしている。児童文化センターとして、PRはあるか。
(事務局)	子供が自分事としてとらえることを心掛けている。タブレットPCの使い方については、先生方にも知ってほしいと考えている。観察する場面、体験をする場面を設定することで子供たちが自分事として捉えるように取り組んでいる。また、交通教室のしおりの活用など、家庭との連携も意識している。
(事務局)	環境教室では、2050年の天気予報を提示して考えさせている。また、家庭でも環境について話し合うことを投げかけている。

<p>(吉川教育長)</p>	<p>子供の時にいろんな体験をすることが大事。コロナ禍において、世の中には正解がないことがあるということを大人も子供も経験している。自分で問いを立てて、自分で解決していくことが大切。児童文化センターはたくさんの体験ができる、それを期待される施設。建物が立派になっているが、スタッフの変わらない情熱が支えてきている。</p> <p>企業版ふるさと納税は前橋市以外の企業からの寄付のようなもの。額は多くなることが期待されるが、待っているだけではなく、他の手立ても大切なので、クラウドファンディングも含めて考えていく。</p>
<p>6. 閉会</p>	